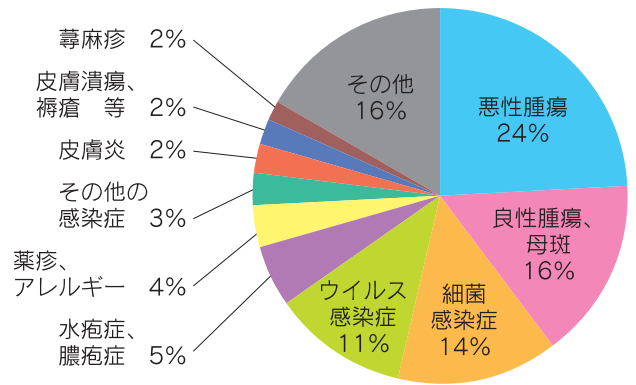


皆さんは皮膚疾患という何を思い浮かべるでしょうか?湿疹、みずむし、アトピーなどかもしれませんが、実際に皮膚科で扱う疾患は多彩です。当院では皮膚腫瘍、難治性皮膚疾患、全身性疾患の皮膚症状、救急皮膚疾患などに重点を置いています。他科患者さんに生じた皮膚の合併症やトラブルなどに対しても、主科と連携して診療にあたります。皮膚疾患全般にわたって幅広く診療していますが、皮膚悪性腫瘍の診断と治療には特に力を入れています。

現在常勤医2名、レジデント1名、専攻医1名、非常勤医1名

2019年度実績		
入院	1日平均入院患者数	6.3人
	年間新入院患者数	217人
外来	1日平均外来患者数	41.9人
	手術室	248件
手術	外来処置室	115件

で診療を行っています。週2回のカンファレンスを行って情報を共有し、各種疾患の正確な診断と治療について全員で検討しています。外来診療の比重がやや高めですが、疾患や患者さんの状態に応じて年間200名前後の患者さんを入院治療しています。



入院主要疾患の内訳 (2019年度:217人)

## 診療内容

### 皮膚腫瘍

皮膚悪性腫瘍の専門医を中心に、皮膚腫瘍の診断と治療を行っています。正確に診断して進行度などを把握したうえで、ひとりひとりの患者さんに適切な治療(手術、放射線療法、抗腫瘍薬、免疫療法、など)を選択するよう心がけています。

- **ダーモスコピー**：皮膚腫瘍の診断にはダーモスコピーと呼ばれる特殊な拡大レンズを用います。これにより真皮上層までの構築が透見され、単なる拡大画像ではなく奥行きのある2次元画像(2.5次元?)が得られます。皮膚腫瘍の診療には欠かせない道具で、各種皮膚腫瘍の診断のカギとなるような情報を得ることができ、良悪の判別にも有用です。

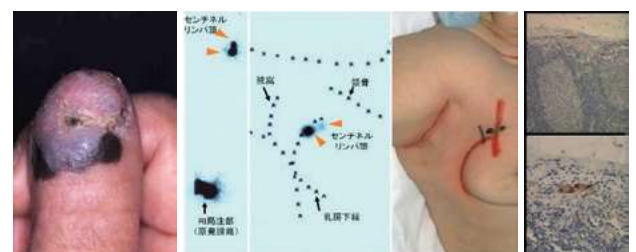


- **皮膚超音波診断**：皮膚および皮下腫瘍、リンパ節病変などを超音波診断し、質的情報や解剖学的情報を得ることが可能です。疾患によりCT画像、MRI画像を組み合わせることで診断します。

- **皮膚良性腫瘍**：ホクロなどの一般的なものから特殊な腫瘍まで数多くの疾患が対象となります。部位、症状や大きさに応じて外来ないし入院で手術をおこないます。

- **皮膚悪性腫瘍**：基底細胞癌、有棘細胞癌、メラノーマなどがその代表です。治療の中心は手術(切除)で、いくつかの腫瘍ではセンチネルリンパ節生検(転移を生じやすいリンパ節のみを切除し、リンパ節転移の有無を詳細に組織診断する方法)が適応となります。

癌種や進行度によっては放射線療法、抗腫瘍薬による治療(外用、全身投与)、免疫療法、も選択されます。進行期のメラノーマでは、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬も用いられます。

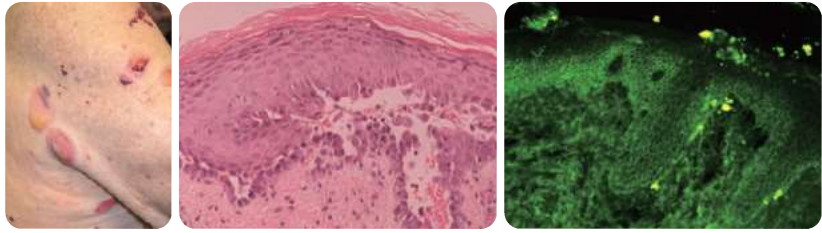


**難治性皮膚疾患(自己免疫性水疱症、乾癬、掌蹠膿疱症、脱毛症、など)**

天疱瘡、類天疱瘡、乾癬など皮膚科特有の難治性疾患があり、生命にかかわらなくてもしばしば日常生活に影響を与えます。皮膚生検をはじめとする種々の検査で正確に診断し、局所処置・理学療法・薬物療法などがおこなわれます。

近年の診断・治療技術の進歩はめざましく、皮膚科領域でも新しい診断法・治療法が開発されています。当院はその一つである乾癬に対する生物学的製剤の使用承認施設です。生物学的製剤は、アトピー性皮膚炎や難治性じんま疹にも適用されています。

また、紫外線治療などの理学療法も行っています。複数の紫外線治療機器があり、イオンフォレーシス装置も導入されています。



尋常性天疱瘡 臨床写真(左)、病理組織検査(中央)、蛍光抗体法(右)



尋常性乾癬

紫外線治療機器

- 皮膚病変を伴う全身疾患の診断と治療
- 他科疾患の皮膚合併症への対応
- 皮膚科領域の救急疾患

膠原病や血管炎などの全身性疾患が皮膚症状で発見されることも多く、皮膚病変からは重要な情報が得られます。「皮膚は内臓の鏡」といわれる所以です。疑わしい皮膚病変をみつけたら、皮膚生検をはじめとする様々な検査をおこない、潜んでいる全身性疾患をみつけ出します。

他科で治療を受けている患者さんに生じる皮膚合併症についても診断治療しております。(薬疹、抗がん剤による皮膚



皮膚筋炎:Gottron 徴候(左)、メカニクスハンド(中) 間質性肺炎を合併(右)

障害、免疫抑制患者における皮膚感染症、など)

また、蜂窩織炎、壊死性筋膜炎などの緊急性を要する救急疾患にも対応しています。

**スタッフ紹介(2020年4月現在)**

- 浅越 健治(あさごえ けんじ) 医長
- 眞部 恵子(まなべ けいこ) 医師
- 加藤あずさ(かとう あずさ) レジデント
- 瀧川充希子(たきがわ みきこ) 専攻医
- 浅田志乃舞(あさだ しのぶ) 非常勤医師:水曜



当科の特長を生かした専門的診療をおこないつつ、院内外からの相談にもしっかり対応できるよう尽力してまいります。

**外来表 (2020年4月現在)**

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
初診・再診	浅越				浅越				浅越	
	眞部		眞部		浅田		眞部		加藤	
	瀧川		加藤		加藤		瀧川		瀧川	
専門外来						浅越				眞部
光線・処置外来		○		○		○		○		○
カンファレンス						臨床		病理		

●...手術